

- 問1 始皇帝が北方の遊牧民の侵入を防ぐために修築させた巨大な建造物を何という？
- 問2 岩宿遺跡で発見され、日本に旧石器時代が存在したことを証明した石器を何という？
- 問3 日本の歴史において、大陸から青銅器などの金属器が伝わり、祭りの道具として使われるようになった時代を何という？
- 問4 モヘンジョ・ダロなどの遺跡で見られる、衛生的で整った都市機能の一部を何という？
- 問5 川の氾濫時期を知るために発達した天文学に基づき、古代エジプトで使われた暦を何という？
- 問6 旧石器時代の人々は、何という道具を使わず、獲物を追って移動しながら生活していましたか？
- 問7 紀元前16世紀ごろ、中国で興った最古の王朝が発展した地域を何という？
- 問8 ローマ帝国で弾圧されていたが、後に公認され国教となった宗教は何？
- 問9 イスラム教において、共通の信仰を持つ信者たちによって形成された共同体を何という？
- 問10 漢の時代に中国と西アジアや地中海地域を結び、東西の文化交流を促進した交易路を何という？
- 問11 孔子が理想的な政治を説いて回った、中国の争いが絶えなかった時代を何という？
- 問12 古代エジプトで石碑やパピルスへの記録に用いられた、独特な絵文字を何という？
- 問13 インダス文字が刻まれて残されている、当時の人々の証となった道具を何という？
- 問14 マチュピチュの遺跡において、接着剤を使わずに石を積み上げる高度な建築技術を何という？
- 問15 インダス文明が発展したことで知られる、現在のインドやパキスタンを流れる川を何という？
- 問16 エルサレムの奪還を掲げて行われ、東西の文化や経済の交流を促進した遠征隊を何という？
- 問17 黄河流域で発展した中国文明において、祭祀などの目的でつくられた金属製の道具を何という？
- 問18 古代エジプト文明の発展を支えた、毎年決まった時期に氾濫して肥沃な土壌をもたらした川を何という？
- 問19 黄河流域で生まれた甲骨文字をルーツとして、現在も使われている文字を何という？
- 問20 古代の都市国家において、市民が直接参加して政治を行うしくみを何という？
- 問21 7世紀、中大兄皇子らが中心となって行われた改革の際に採用された、日本で最初の元号を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 万里の長城	始皇帝は、それまでバラバラだった各地の城壁をつなぎ合わせ、大規模な防衛線として万里の長城を完成させました。これにより、農業社会と遊牧社会を物理的に隔てる役割を果たしました。
問2	答え 打製石器	1946年、相沢忠洋が群馬県の岩宿遺跡で地層の中からこの石器を発見しました。石を打ち欠いて作った石器が発見されたことで、石器以前の石器文化が日本にも存在したことが初めて明らかにされました。
問3	答え 弥生時代	弥生時代には、稲作による集団での農耕作業が社会の基盤となりました。この時期に大陸から伝来した青銅器は、実用品というよりも祭りや儀式で用いる宝器として重要視され、銅鐸などが製作されました。また、武器として鉄器も伝わり、収穫物を巡る争いから集落を守るための環濠集落なども作られました。
問4	答え 下水道	モヘンジョ・ダロの各家庭には排水口があり、そこから道路の下に埋められたレンガ造りの下水道へと汚水が流れる仕組みになっていました。このような高度な都市インフラは、当時の他の地域の都市と比べても非常に先進的なものでした。
問5	答え 太陽暦	古代エジプト人は、特定の星が昇る時期を観測することで、氾濫の始まりを予測しました。これが1年を365日とする太陽暦の原型となりました。
問6	答え 土器	土器は、粘土を成形し焼いて作った容器です。水を入れて火にかけることで、煮込み料理などが可能になりました。土器が登場しない旧石器時代は、食材を直火で焼くなどの調理法に限られていました。
問7	答え 黄河流域	黄河は中国北部を流れる大河であり、この流域で紀元前16世紀ごろに「殷」という王朝が成立しました。黄河のほとりでは粟などの穀物栽培が盛んになり、人々が定住することで文明の基礎が築かれました。殷は青銅器を用いた高度な文明であり、王による政治や祭祀が行われていました。
問8	答え キリスト教	しかし、信者が増え続ける中で、313年に公認され、その後、4世紀末にはローマ帝国の国教とされました。
問9	答え ウンマ	ウンマは、信仰を共有するすべての人々が平等な兄弟であるという意識に基づいた宗教的・社会的な共同体です。ここでは、ムハンマドを指導者として、礼拝や喜捨などの戒律を共有し、協力して生活することが求められました。これにより、多様な部族が団結する基盤ができました。
問10	答え シルクロード	シルクロードは、中国の絹を西方の国々へ運ぶために利用された広大な交易路の総称です。単に品物を交換するだけでなく、仏教やイスラム教などの宗教、芸術、技術などがこの道を通じて各地へ伝播しました。
問11	答え 春秋戦国時代	この時代には、孔子のような「諸子百家」と呼ばれる思想家たちが現れ、社会を安定させるための様々な政治理論を提唱しました。
問12	答え ヒエログリフ	ヒエログリフは、動物や植物、日常的な道具などを象った絵文字です。主に神殿や墓などの石碑に刻まれるほか、植物の茎を加工した紙であるパピルスにも記されました。神聖な文字として大切に扱われ、当時の社会生活や思想を今日に伝える貴重な資料となっています。
問13	答え 印章	インダス文明の遺跡からは、滑石などで作られた「印章」が大量に発見されています。この印章には、独特のインダス文字とともに、牛や象、虎などの動物が精巧に彫り込まれていました。これらは商取引の際に物品に押しつけたり、身分証明として使われたりしたと考えられています。
問14	答え 石造建築	石造建築は、巨大な石の角を削り、隙間なく完璧に合わせる高度な技術です。この技術により、インカの建物は接着剤を使わなくても強固で、地震が起きても石同士がわずかに動くことで倒壊を防ぐ仕組みになっています。マチュピチュの都市全体がこの技術で構築されました。
問15	答え インダス川	インダス川流域では、雨季と乾季のサイクルに合わせて農業が営まれました。この川の恩恵を受けることで、モヘンジョ・ダロやハラッパーといった巨大な都市が形成され、食料が安定したことで人口も増加しました。
問16	答え 十字軍	十字軍は、ローマ教皇の呼びかけに応じて組織された武装勢力です。複数回にわたり遠征が行われましたが、本来の目的である聖地の奪還は長続きしませんでした。しかし、この遠征を通じて、進んだイスラムの文化や経済がヨーロッパに流入しました。
問17	答え 青銅器	青銅器は、銅と錫の合金を型に流し込んで作られた道具で、当時の王が権威を示す祭祀用の器として重宝されました。同時に、神への問いかけを亀の甲羅や牛の骨に刻んだ「甲骨文字」が使用され、これがのちの漢字の源流となりました。
問18	答え ナイル川	ナイル川は毎年決まった時期に定期的な氾濫を繰り返し、そのたびに下流域に肥沃な土壌を運びました。人々はこの恵みを利用して農耕を行い、食料を確保することで高度な文明を築くことができました。
問19	答え 漢字	漢字は、意味を表す性質（表意文字）を持つ文字として、長い年月をかけて形状が簡略化され、統一されていきました。秦による中国統一で文字が整理されたことで、広い地域での意思疎通が可能になりました。
問20	答え 民主政治	民主政治は、成人男性の市民が議会に参加し、直接意見を述べて国の政策を決定する仕組みです。代表的なアテネでは、くじ引きなどで役人を選び、多くの市民に政治への参加機会を与えていました。
問21	答え 大化	645年の大化の改新により「大化」という元号が定められました。これは中国の制度を模倣し、天皇の権威を象徴するために導入された新しい試みです。中央集権的な国家体制を築く「公地公民」や「班田収授の法」といった施策がこの改革の大きな柱となりました。